

連絡先：(村田 090-1354-5974、三井 090-6412-4658)

こんにちは！

呉市では5月下旬に運動会や体育大会が開催される小中学校が多いようです。

巷では小学校の校庭のきついカーブに合わせた、大人用のスニーカーが発売されているとか。なんでも左回り用で左右違った靴底になっているらしいです。

そういう工夫でなんとかなる走力ならいいのですが…(^\_^)



第5回定例学習会

## 「原発について読み比べてみよう」

5月20日に行いました。報告です！

### これに関しちゃ、教科書だけ読んでたらおおごとします！

教科書は国の考えを子どもたちに教えるための教科用図書。わかっちゃいるけど、これはあんまりだ。いくら原発推進が国の方針でも、「お国が進めていることだから、ノーリスク！」なんて子どもたちに胸を張って教えていいの？

他の単元ではまともなことが書いてある、育鵬社以外の教科書でさえ「二酸化炭素の排出が比較的少ない原子力発電」「…太陽光発電…現状では発電量が少なく大きな費用がかかる…」と原発認容の記述。参加者からも「石炭なら落盤事故や煤、ウランならふらふら病や使用済み核燃料等、負の面があるが、何も記述されていない。」との意見が。

これが育鵬社版となると「原子力発電は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さず、原料となるウランをくり返し利用できる利点があります。」と手放しの褒め称えようです。イラストの男の子までにこにこ顔で「フランスは原子力発電の割合がとても高いね。」(日本はまだまだだねって意味かな?)と発言。

嘘っぱちその①—原子力発電のCO<sub>2</sub>排出量が少

ないというのは発電時だけ。原子力発電所の建設時、原料採掘時にはCO<sub>2</sub>莫大出てます！

嘘っぱちその②—核燃料サイクルは確立していません。ウランをくり返し利用できるという前提で夢のエネルギーと言われていた原子力ですが、超多額の研究開発費を投じ、放射能物質を拡散しながら、再処理施設は稼働していません。そもそも人間が管理できるものではないと思います。

嘘っぱちその③—フランスでは確かに原子力発電の割合が高いけど、その発電量は日本の1.3倍ほど。フランスは人口が日本の半分くらいだから使う電気が少ないんです。国土面積は広いし、なによりフランスではほとんど地震って起きないんです！(スイス国境では少し起きますけど。)それって体格や体質がぜんぜん違う人に同じ量のお酒飲ませちゃうみたいなものでは？

みなさんも育鵬社の教科書をご覧になることがあれば、ご自分の得意分野からチェックしてみてください。嘘っぱちを見つけたら、当会にぜひ教えて下さいね。



## 運営委員からひとこと

「子どもは教科書なんて、読みはしない」  
 「どんな教科書だって一緒だよ」という人がいます。そうでしょうか？  
 教科書は、日本の将来が託されるものです。  
 だから私は、全力で、育鵬社教科書を拒否します。

村田麻実子

ち

よ

っ

と

あ

で

か

け

教科書を考える呉の会～未来への架け橋～

定例学習会です！

社会科で記紀？

第6回「古事記・日本書紀」

日時：2012年6月10日（日）15：00～17：00

場所：西教寺（駐車場もあります）

くまたね



くまたちせん

教科書採択問題県民ネットワーク（仮称）

「呉・尾道だけの問題じゃない！」  
と動いてます

沖縄教科書裁判原告、琉球大学教授 高嶋伸欣さん来る！

日時：2012年7月7日（日）14：00～17：30

場所：ゆいぽーと（広島市中区大手町5丁目6番9号）

子どもと教科書全国ネット21編

『育鵬社教科書をどう読むか』発売中！

定価1890円のところ、1800円でお取り寄せします。  
 ご注文はニュースタイトル下の携帯電話にお願いします。

